

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

事業報告及び決算

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(事業報告)	(頁)
I 概況	1
II 事業活動	1
1 概要	
III 法人の管理運営	3
1 理事会	
2 評議員会	
3 監査	
4 法人の業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況	
IV 附属明細書	5

I 概況

当協議会は、全ての高齢者の方々が、健康で生きがいのある高齢期を過ごすことができる「ぬくもりと活力のある長寿社会」を築くことを目的に、幅広い取り組みを積極的に進めてきたところである。

シルバー大学校では、能力の再開発を支援し、地域福祉を推進するリーダーを養成するための学習機会の提供を行った他、全学生が一堂に会する「合同講義」や「大学祭」を開催し、学習は基より、学生相互の絆や交流を深めた。同大学院でも専門的で高いレベルの学習機会を提供し、大学校では447名が、大学院では134名の方が卒業した。

また、自宅で受講できる講座として、ケーブルテレビによる「生き生きシニア放送講座」を引き続き開講するとともに、インターネットによる「Web講座」についても従前の講座に5講座を加え実施した。

また、高齢者自身が参加するスポーツ・文化の交流イベントや小学生から長寿社会に関する作文・絵の募集、高齢者美術展などを盛り込んだ県健康福祉祭を県内3圏域で開催するとともに、「全国健康福祉祭えひめ大会」へ選手等総勢208名を派遣し、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するとともに、世代間・地域間交流を図ることができた。

アクティブシニア地域活動支援センターにおいては、歴史文化、防災、健康スポーツ、ICT及び外国語のそれぞれの分野でリカレント講座を開催するとともに、多くの生きがいづくり推進員を、研修会の講師や観光ボランティア等として、県内スポーツ関係団体や文化施設、小学校等へ派遣した。

また、シルバー大学校及び同大学院の各OB会について、会員の研修事業に対する補助に加え、県下3圏域毎のOB会同士が協力して実施する合同事業に対する補助やOB会が実施するイベントの企画支援を行うなど、OB会の活性化や地域貢献活動の推進を支援した。

そのほか、ホームページや、「情報誌いのち輝く」の発行など、長寿社会に関する様々な情報の発信に取り組んだ。

今後とも、創意工夫をしながら、各種事業を着実に実施し、高齢者が活躍する生涯現役社会の実現に向け、更なる努力を重ねていく所存である。

II 事業活動

1 概要

(1) 公益目的事業1

情報誌の発行や高齢者の生きがいと健康づくりの推進、世代間・地域間交流などを目的とするイベントの開催などを通じて、広く県民に明るい長寿社会づくりについての啓発を行う事業

ア 長寿社会啓発事業（フレイル予防推進事業を含む。）

情報誌「いのち輝く」の発行、当協議会のHPなどを通じて、長寿社会関係の様々な情報を収集・提供することにより、明るい長寿社会づくりの取り組みについて広く県民に対して意識の高揚を図っている。

イ 徳島県健康福祉祭開催事業

高齢者自身が参加するスポーツ・文化の交流イベントや、小学生からの長寿社会に関する作文・絵の募集、高齢者美術展などを盛り込んだ「徳島県健康福祉祭（徳島県との共催）」（県央を中心とし、県南部・西部においても「県健康福祉祭サテライト大会」を実施。）の開催により、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するとともに、県民を挙げて「ぬくもりと活力のある長寿社会づくり」に取り組む必要性を普及啓発している。また参加者に身近で親しみやすい大会とし、事業効果を県内隅々に波及させるよう取り組んでいる。

ウ 全国健康福祉祭への選手等派遣事業

高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の祭典である「全国健康福祉祭えひめ大会（厚生労働省、開催地自治体、（一財）長寿社会開発センター主催、スポーツ庁共催）」へ20種目200名の選手団を派遣した。

なお、団体では卓球、カローリングが、個人戦では将棋が全国優勝をするなど、多くの本県選手が上位入賞を果たしている。

<事業実施の財源>

長寿社会啓発事業（フレイル予防推進事業含む。）は、徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」、「フレイル予防推進業務委託金」により実施。また、情報誌は関係機関等への無償配布以外に1部300円で一般書店等での販売も行っており、その収益を経費に充当している。

徳島県健康福祉祭開催事業及び全国健康福祉祭への選手等派遣事業は、徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」により実施。

(2) 公益目的事業2

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を支援するとともに、社会活動の振興のための指導者として活躍できる人材を育成する事業

ア シルバー大学校の開講事業

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を支援し、地域福祉を推進するリーダーを養成する事業。昭和56年度より開始し、令和5年度で第42期を迎えた。

応募資格は、県内在住の55歳以上で、学習意欲があり、卒業後地域社会活動の指導に当たる意欲がある者。

徳島校、鳴門校など県下各地に9校設置し、福祉、社会経済などの教養科目と歴史文化、ICT、防災、英会話などの選択科目を学習する。学習時間は、年間30日、120時間。総定員は555名。入学金は無料で、授業料は年額5千円。卒業生は開校以来「16,664名」。

イ シルバー大学校大学院の開講事業

高齢者自身が生きがいを持って生活し、地域社会の重要な担い手として活躍できる環境づくりを図るため、専門的で高いレベルでの学習機会を提供し、卒業後は、社会貢献活動を推進する人材を養成する事業。平成16年度より開始し、令和5年度で第19期を迎えた。

応募資格は、県内在住の55歳以上で、卒業後社会貢献活動に意欲がある者。歴史文化講座、健康スポーツ講座、ICT講座（プログラミング）ICT講座（3教室）、防災講座、おもてなし外国語講座（中国語会話、英会話）の6講座があり、徳島市、鳴門市、阿南市、北島町、東みよし町で開講。学習時間は、年間約40日160時間。総定員は180名。入学金は無料で、授業料は年額1万円。

ウ 生き生きシニア放送講座開講事業

シルバー大学校等に通学が困難なシニア層等に対し、ケーブルテレビを活用した「自宅で受講できるシニア向け講座」を提供し、「生きがいづくり」や「地域活動参加のきっかけづくり」としていただいている。

講座は年間8講座（各講座を前半・後半に分け1回約50分放送、シルバー大学校等の講座の中から選定委員により選定）で、県内全域のケーブルテレビを利用し放送している。応募資格は県内在住の55歳以上の者。令和5年度の受講者は84名で、概ね半分以上の講座を視聴し、講座の内容や感想を受講手帳に記載・提出した者に修了認定証を交付。入学金は無料で、受講料は年額1千円。

また、web講座を新たに5講座追加（全48講座公開）し、とくしま“あい”ランド推進協議会のホームページを利用し誰でも視聴可能とした。視聴回数は開講以来延べ127,850回（令和6年3月31日現在）。受講料は無料。

エ 関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会

関西広域連合における構成府県との結び付きを活かした各府県のシルバー大学校等との連携を、平成29年度からは首都圏にも広げ、関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会として開催している。在学生と卒業生との交流を促進することにより、高齢者が有する「知識」、「能力」の更なる向上を図るとともに、これまでにない「県境を越えた新たな仲間づくり」や、「新たな生きがいづくり」につなげることを目的とする事業。

令和5年度は大阪府で開催された（担当事務職員のみ）の会議。

<事業実施の財源>

シルバー大学校及び大学院開講事業、生き生きシニア放送講座開講事業は、徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」及び受講生からの年額授業料（それぞれ5千円、1万円、1千円、共に入学金は無料）を事業費に充当し経費を支弁している。

関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会は、徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」により実施。

(3) 公益目的事業3

地域貢献活動の「担い手育成」と「活躍の場の創出」により、元気な高齢者が活躍する生涯現役社会を実現するための事業

ア アクティブシニア地域活動支援事業

地域社会を支える新たな担い手として、高齢者の地域活動を支援している。

「アクティブシニア地域活動支援センター」では、地域貢献活動を推進する人材として、主としてシルバー大学校大学院卒業生を「生きがいづくり推進員」に登録し、課題解決の支援を必要としている地域や団体に派遣している。

また、地域等におけるニーズの幅広い情報収集、意欲ある高齢者へのリカレント講座の実施などを通じて、地域や団体等と推進員のマッチングを行っている。

また、シルバー大学校・大学院卒業生のOB会が地域貢献活動の核になれるよう、その取組みを支援している。

さらに、県内4地域でパソコン講座を開催して、高齢者が高齢者に教えることにより、誰もがデジタル社会の恩恵を享受するとともに、同地域・同世代の高齢者同士の交流の輪を築き、住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いを支援している。

<事業実施の財源>

徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」により実施。

III 法人の管理運営

1 理事会

ア 第25回理事会

開催日	令和5年5月26日（金）
場所	徳島県立総合福祉センター
報告事項	理事の職務の執行状況について
議決事項	①令和4年度事業報告及び決算について ②経営健全化計画について ③定時評議員会の招集及び提出議案について

イ 第26回理事会

開催日	令和6年3月12日（火）
場所	徳島県庁
報告事項	理事の職務の執行状況について
議決事項	①令和5年度補正予算について ②令和6年度事業計画及び収支予算について ③評議員会の招集及び提出議案について ④諸規程の改正について

ウ 決議の省略

日 時 令和5年4月1日(土)
議決事項 ①代表理事の選定について
理事長 板東 安彦

エ 決議の省略

日 時 令和5年6月13日(火)
議決事項 ①代表理事の選定について
理事長 板東 安彦

オ 決議の省略

日 時 令和5年7月31日(月)
議決事項 ①評議員会へ提案する役員等の選任に係る理事会案について
(評議員)
選任案 市原 俊明
島 和久
藤原 有希
(理事)
選任案 後藤田 正純
森 恭子

カ 決議の省略

日 時 令和5年8月1日(火)
議決事項 ①代表理事の選定について
理事長 後藤田 正純

2 評議員会

ア 第25回定時評議員会

開催日 令和5年6月13日(火)
場所 徳島県立総合福祉センター
報告事項 ①令和4年度事業報告について
②経営健全化計画(地方創生・経営健全化計画)について
議決事項 ①令和4年度決算について
②役員等の選任について

イ 第26回評議員会

開催日 令和6年3月22日(金)
場所 徳島県立総合福祉センター
報告事項 ①令和5年度補正予算について
②令和6年度事業計画及び収支予算について
議決事項 ①役員の報酬について

ウ 決議の省略

日 時 令和5年8月1日(月)
議決事項 ①役員等の選任について
(評議員)
選任 市原 俊明
島 和久
藤原 有希
(理事)
選任 後藤田 正純
森 恭子

3 監査

監事監査

実施日・場所
・佃監事：令和5年5月24日(水)(徳島大正銀行本店)
・金井監事：令和5年5月18日(木)(徳島県庁会計管理者室)
監査対象 令和4年度

4 法人の業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 法人の業務の適正を確保するための体制

ア 理事及び職員の職務の執行が、法令、定款に適合していることを確認し、その結果を代表理事に報告する。

イ 理事会は、法令、定款等に従い、重要事項を決定するとともに、理事の職務の執行を監督する。

ウ 理事の職務の執行は、法令及び定款、諸規程に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は理事会議事録に記録され、その記録を適切に保存・管理する。

(2) 当該体制の運用状況

理事等の職務執行等が適正に行われていることを常に確認している。

IV 附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項が存在しないので作成しない。

令和6年5月

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会